

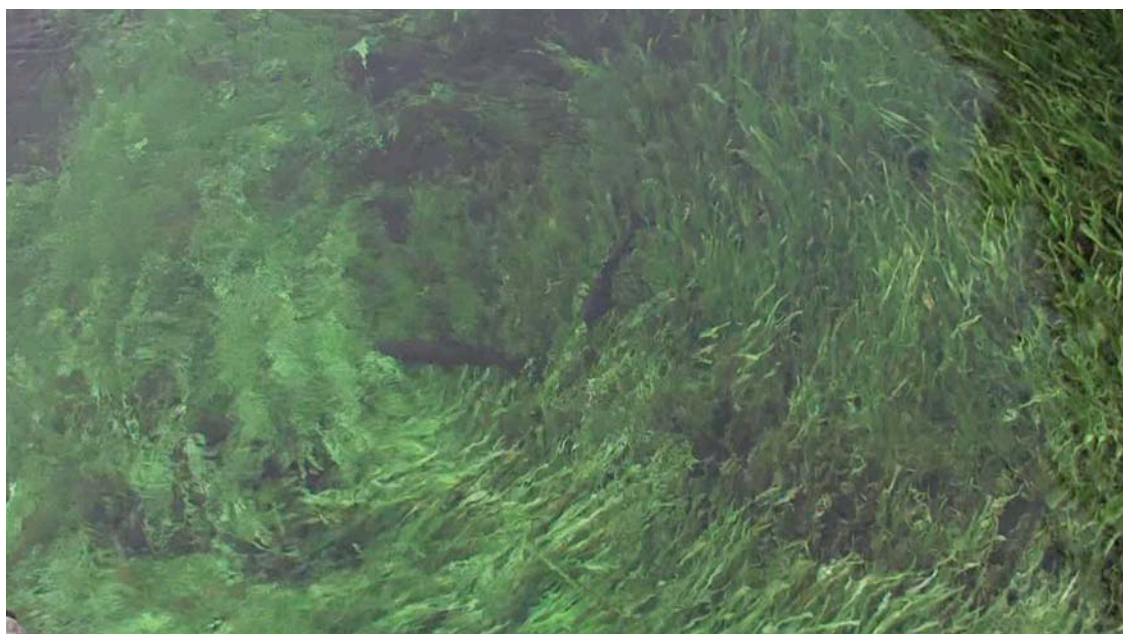
報道関係各位

大岡信ことば館展覧会のご案内

大岡信の詩と遊ぶ 音と映像のコラボレーション

見ることは さわること？ 展

2013年7月20日（土）～10月14日（月）



展示映像「さわる」より（撮影：岩本圭司）



大岡信ことば館
OOKA MAKOTO KOTOBA MUSEUM

■ 企画趣旨

——さわることは見ることか
——さわることは知ることか

大岡信に「さわる」という詩があります。花にさわる。光にさわる。空にさわる。女性のはるかな曲線にさわる。さわることの不安にさわる。すべてにさわる……。さわることをおぼえて、いのちにめざめたことを知る。

さわることは観念を超えて世界と感応すること。それはこの詩人の方法であり、深層に息づく感覚でもあります。

今企画では、「見ることは さわること？ 展」と題して、音と映像が融合する空間に、「さわる」をはじめ数篇の大岡信の詩をかかげ、この詩人のことばと感性の核心に迫ります。ことばを体感する創造的な空間の試みをお楽しみいただけましたら幸いです。

■ 開催概要

【**展覧会名称**】 大岡信の詩と遊ぶ 音と映像のコラボレーション
見ることは さわること？ 展

【**会期**】 2013年7月20日（土）～2013年10月14日（月）

【**開催場所**】 大岡信ことば館
〒411-0033 静岡県三島市文教町 1-9-11
TEL:055-976-9160 / FAX:055-989-1360
<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>
E-mail:kotobakan@zkai.co.jp

【**開館時間**】 午前10時～午後5時（入館は午後4時半まで）

【**休館日**】 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館）
ただし9月29日は休館し、翌30日は開館。

【**入館料**】 大人・大学生 500円
小～高校生 100円
65歳以上 200円
団体（20名以上） 2割引
未就学児 無料
障害者手帳ご提示の方およびその付き添いの方1名 無料

※ 10月5日（土）は開館記念日。入館無料、午後7時まで開館延長。

【**主催**】 株式会社増進会出版社 大岡信ことば館

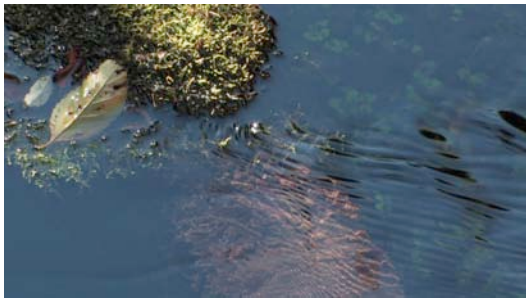
【**協力**】 SPAC（静岡県舞台芸術センター）、静岡県立韮山高等学校音楽部

- 【共催】 静岡新聞社・静岡放送
- 【協賛】 株式会社Z会、第一三共株式会社、伊豆箱根鉄道株式会社、
みしまプラザホテル
- 【後援】 静岡県教育委員会、三島市教育委員会、沼津市教育委員会、
長泉町教育委員会

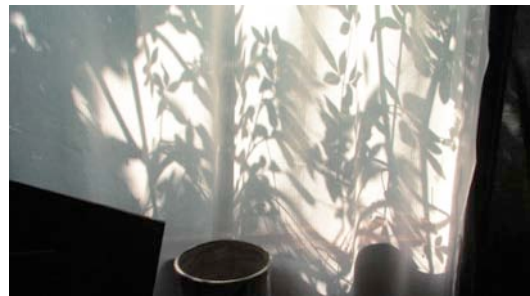
【展示内容】

S P A C（静岡県舞台芸術センター）と、静岡県立韮山高等学校音楽部のご協力をいただき、大岡信の詩「さわる」、「うたのように2」、「三島町奈良橋回想」はS P A Cによる朗読を、大岡の詩が合唱曲となっている「方舟」は静岡県立韮山高等学校音楽部の合唱を音源として、メインフロアに流します。これらの音と、展示室の壁面に設置したスクリーンに投影される水や光の映像が交錯し、融け合っ、「さわる」体感の場となることを目指します。

なお、映像は当館館長で造形家の岩本圭司による撮影・編集で、おもに伊豆半島一帯の自然風景が素材になっています。



「さわる」より



「うたのように 2」より



「方舟」より



「三島町奈良橋回想」より

*** 映像の撮影地について**

大岡信ことば館は、大岡信の生まれ故郷・三島にあります。三島は、富士山を間近に望み、富士からの伏流水が湧き出る水源がいくつもみられる水の豊富な土地です。大岡信にとって、水は自身の感性の形成や詩作のうえで、重要な要素となっています。

伊豆半島のつけねに位置する三島。周囲は海山の豊かな自然に囲まれています。今回、岩本圭司は、三島を基点に伊豆半島一帯から忍野八海まで足をのばし、さまざまな風景を撮影しては編集し、大岡信の詩と重ねています。

大岡信の詩と対応させた主な撮影地

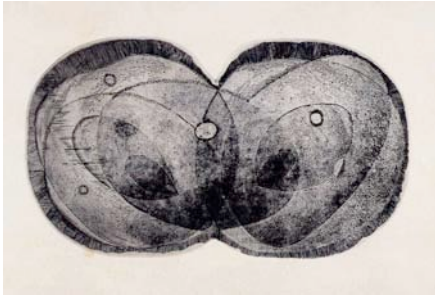
「さわる」・・・柿田川湧水群、滑沢溪谷、忍野八海

「うたのように 2」・・・伊豆の国市内、函南原生林、箱根湿生花園

「方舟」・・・戸田海岸、久連港、伊豆白浜

「三島町奈良橋回想」・・・伊豆の国市内、忍野八海

また、別のコーナーでは、当館所蔵美術作品のなかから、「見ることは さわること？」のテーマにそって選んだ絵画や彫刻を展示します。



駒井哲郎「蝕果実」1960年 紙にエッチング、アクアチント



安田侃「天泉」1997年 白大理石に彫刻

そのほか、同時開催企画として、「大岡信の部屋」では、大岡が生まれ育った三島・沼津のゆかりの地を紹介する展示「ふるさとを歩く」と、400点余りの所蔵美術作品のなかから選んだ数点を、作家にあてた大岡の詩とともに紹介する展示「大岡信美術コレクションより」を行います。

■ 大岡信プロフィール

大岡信 おおおか まこと

詩人。1931年、三島市に生まれる。現代詩に数々の傑作を生み出すだけでなく、日本の古典文学における創造的な解釈にも時代を画した膨大な仕事がある。1979年から6,700回を超えて朝日新聞に連載した「折々のうた」では、短歌・俳句・詩ほか古今の傑作を卓抜に解説して多数の読者を獲得した。

■ 岩本圭司プロフィール

岩本圭司 いわもと けいじ

大岡信ことば館館長・造形家。一九五六（昭和三一）年、静岡県伊東市生まれ。東京芸術大学工芸科卒業、同大学院鑄金専攻修了。立体作品の制作、写真集「KAKITAGAWA」の出版（増進会出版社）、モノオペラ「銀杏散りやまず」（原作・出演：辻邦生、演出：木戸敏郎、美術：磯崎新）にてビデオ映像担当など、幅広く活動している。大岡信ことば館開館以来、大岡信の詩をもとにことばを造形化するという新たな試みを展開している。昨年、奈良県立万葉文化館にて万葉集の歌を立体的に展示し、今年は高知県立文学館の展示も手がける。

■ 会期中イベント

三島でシネマ（大岡信ことば館映画上映会） 5夜連続 10作品上映！

会場：三島市民文化センター小ホール

日時：9月30日（月）～10月4日（金）いずれも17：00～ / 19：30～

ふじのくに子ども芸術大学講座「色・ことば・映像で遊ぶ！」

講師：本原玲子（美術作家）

日時：8月1日（木）、7日（水）、21日（水）13：00～16：00

※ 1回のみ参加も可

ギャラリーツアー

日時：毎月第1・第3日曜日 14：00～

※ 各イベントの内容やお申込の方法などにつきましては、大岡信ことば館ウェブサイト（<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>）のトップページや「イベント情報」ページも合わせてご参照ください。

* 広報用図版について

表紙および上記に掲載した図版6点は、広報用にお使いいただけます。
掲載ご希望の方は下記までご連絡をお願いいたします。

また、YouTubeに展示作品の一部を掲載しています。

紙面ではお伝えできない、詩の朗読と映像が重なりあう展示の様子わかりますので、こちらもぜひご覧ください。

・「さわる」（部分）<http://www.youtube.com/watch?v=UZX250MY-Zk>

・「方舟」（部分）<http://www.youtube.com/watch?v=jgwsMmuumNQ>

【問い合わせ】

住所 〒411-0033

静岡県三島市文教町1-9-11 大岡信ことば館

TEL:055-976-9163/FAX:055-989-1360

E-mail: kotobakan@zkai.co.jp

<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>

広報担当：神田茂紀／展覧会担当：中村童子